

授業科目名・形態	地域・在宅看護Ⅰ 講義	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	石川セツ子・工藤智美・黒澤麻子	実務経験の有無	有	開講期	2年前期

### 【授業の主題】

人々の暮らしの多様化に伴い、健康課題も多様化・複雑化し、療養の場も病院のみならず施設や自宅へと拡大した。療養者を含めた地域で暮らす人々を対象と捉え、地域療養を支える諸制度を理解し、地域における様々な療養の場での基礎的な看護と技術を学ぶ。

また、海外の在宅ケアの取り組みを学び、今後の地域・在宅看護の動向と発展について考える。

### 【到達目標】

- 1) 地域療養を支える制度の概要、給付の仕組が理解でき説明できる。
- 2) 訪問看護の目的、制度、法的責任などが説明できる。
- 3) 訪問看護の開設・運営・対象者、サービスの利用までの流れが説明できる。
- 4) 在宅看護における危機管理の原則と基本を理解する。
- 5) 在宅における生活ケアと医療的ケア援助技術の概要を理解できる。
- 6) 在宅での日常生活援助ならびに医療的ケアにおけるアセスメントや援助技術が実践できる。

### 【授業計画・内容】

- 第1回 地域療養を支える制度① (石川)  
社会資源の活用 医療保険制度 後期高齢者医療保険制度
- 第2回 地域療養を支える制度② (石川)  
介護保険制度 生活保護制度 障害者に関連する法律
- 第3回 地域療養を支える制度③ (石川)  
難病法 子どもの在宅療養を支える制度と社会資源等
- 第4回 在宅療養を支える訪問看護① (石川)  
訪問看護の目的、制度、法的責任、訪問看護ステーションの開設等
- 第5回 訪問看護技術② (石川)  
特徴と対象者 初回訪問の目的と技術 アセスメントのポイント等
- 第6回 事例で学ぶ在宅看護の技術① (石川)
- 第7回 事例で学ぶ在宅看護の技術② (石川)
- 第8回 在宅看護における安全と健康危機管理 (石川)
- 第9回 地域・在宅看護の動向と今後の発展 (石川)  
海外の在宅ケア (イギリス、オランダ、アメリカ)
- 第10回 在宅における援助技術 (講義) 1) 食事 2) 口腔ケアと嚥下訓練 3) 排泄支援 4) 清潔ケア  
5) 衣類・更衣 6) 洗髪 7) 移動の援助 (石川)
- 第11回 在宅における援助技術①グループワーク (石川)
- 第12回 在宅における援助技術②グループワーク・発表 (石川)
- 第13回 在宅における援助技術②グループワーク・発表 (工藤) (石川)
- 第14回 在宅における援助技術① (演習) (石川・黒澤・工藤)
- 第15回 在宅における援助技術② (演習) (石川・黒澤・工藤)

【授業実施方法】 ①講義 ②DVD視聴 ③演習 ④グループワーク ⑤発表など。

【授業準備】 社会背景と看護ニーズを関連づけて理解するため、厚生労働省「国民基礎調査」「地域包括ケアシステム」等の関連資料、参考書を読み事前学習をしておいてください。

【主な関連する科目】 地域・在宅看護論Ⅰ・ 地域・在宅看護論Ⅱ ・在宅ケア実習

【教科書等】 2022年度版 地域・在宅看護論①② 「地域療養を支えるケア」「地域療養を支える技術」  
石田千絵 山下留理子著 メディカ出版

【参考文献】 令和4年版訪問看護業務の手引き等、必要に応じ授業で紹介する。

【成績評価方法】 1) 筆記試験 (70%) 2) 課題レポート・提出物・演習への取り組み (30%)

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

在宅看護の実務経験を活かし、事例等を紹介しながら分かりやすい授業内容にする。また、諸外国の在宅看護視察研修の体験をもとに、日本の仕組みとの違いについて紹介する。

### 【学生へのメッセージ】

- 1) 在宅看護に関する法規、最近の社会情勢や国、県、市町村の施策の動きを知り、「地域・在宅療養支援」について意識を高めましょう。
- 2) 社会状況の変化に伴い、時代の変化に対応できる看護について考え、将来的には、療養者本人が望む場所で療養できるように、尊厳ある1人の人間として接することができるようにしましょう。